

豆知識編

朝ドラで牧野富太郎博士が主人公

令和5年4月からNHKの連続テレビ小説「らんまん」が始まります。この物語の主人公は日本の植物学の父と呼ばれた牧野富太郎博士です。牧野博士は5万点の標本観察や記録によって1,500種に及ぶ植物名を命名した研究者です。牧野博士は95歳(1862~1957)で天命を終えましたが、その功績として多大な成果を残しています。その人生に対して、連続テレビ小説で語られるのは楽しみなところです。

ドラマの中で、植物の名前と学名などが紹介されたときの豆知識として、サクラを例に記載します。

植物学には、分類が伴います。分類は界—門—綱—目—科—属—種といった階層となっており、普段使われる植物名は属-種の部分を利用します。普段食するモモはバラ科スモモ属で学名を *Prunus persica* (L.)Batsch と表記します(*Prunus* はスモモ属、*persica* は種(モモ)、(L.)Batsch は命名者等)。また、分類上はバラ科(Rosaceae)となります。学名表記は世界共通のもので、論文などの記載に使われます。和名での表現方法としては、バラ科—スモモ属—モモとなり、私たちが食する名称は「モモ」だけとなります。モモはバラの仲間となりますが、バラのイメージからはほど遠い感じが伺えます。

学名を理解することで、お気に入りの花や果物などの仲間を知ることができます。牧野新日本植物図鑑の目次には門—綱—目—科—属の順で植物名が記載されているため、ページをめくるだけで仲間を知ることができます。また、ホームページで検索すると綺麗な写真もついているなど、現在は簡単に情報収集ができます。

森林総合研究所では、花粉症対策スギなどの幾つかの開発品種が作られており、その中でも最近登録品種になったサクラ品種の「はるか」について

て学名も含め説明させていただきます。「はるか」は、DNA解析から同研究所多摩森林科学園内に植栽されている品種「思川」と「手弱女」の自然交配によって生まれたと考えられたサクラ品種です。それぞれの親の特徴の色や花びらの数などが組み合わせられたとても美しいサクラとなっています。学名は「*Cerasus Sato-zakura Group 'Haruka'* Katsuki、(サクラ属と種名と命名者の組合せ)」です。是非アドレスから検索してみてください。



八重の桜 「はるか」

写真は森林総合研究所プレリリースより  
<https://www.ffpri.affrc.go.jp/tmk/cherry/documents/20130327haruka.pdf>

学名が承認されると、その名前は永久的なものとして植物図鑑等で記載されます。牧野博士の植物探索の成果は日本の植物学に多大な功績を残しました。コロナのようなウィルスの発見はあまり好ましくありませんが、まだまだ発見されない生き物たちが身近にいます。野山などに出かけ発見を心がけてみてはどうでしょうか。

最後に、ドラマを通じて植物の分類など興味を持っていただければ幸いです。

(指導普及・海外協力部 指導課 植田 守)

表紙タイトル写真

カギカブラの枝。釣り針に似た形態のカギがあり、このカギを付けた枝が生薬「釣藤鈎(チョウトウコウ)」となる。



リサイクル適性(A)  
 この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。

林木育種情報 No.42

令和5年3月31日発行

国立研究開発法人 森林研究・整備機構  
 森林総合研究所林木育種センター  
 〒319-1301 茨城県日立市十王町伊師 3809-1  
 TEL: 0294-39-7000 (代)  
 FAX: 0294-39-7306  
 ホームページ <https://www.ffpri.affrc.go.jp/ftbc/index.html>